



学校便り 6月号

太陽の学校

- 【教育目標】笑顔かがやく 太陽の子
 【努力目標】
 ・思いやりのある子
 ・自分の力で学ぶ子
 ・心身ともに健康な子
- 【最重点取組事項】
 ・認め合う人間関係づくり
 ・学力の向上
 ・健康な体づくり



khigasi2.exblog.jp

ホームページアドレス
<https://kuroishi-higashi.com>
 緊急用メールアドレス
 kurohigasi2020@gmail.com

本校のホームページ・ブログをぜひご覧ください

令和6年6月21日発行

黒石市立黒石東小学校

TEL 52-3880



自転車に乗る時はヘルメットを着用しましょう

令和5年4月1日から道路交通法が改正され、自転車利用時のヘルメットの着用が努力義務化されています。

黒石市では、昨年度自転車用ヘルメットを現在の3年生以上に無償で支給し、自転車利用時のヘルメット着用を促進しています。

では、実際の着用状況はどうなっているのでしょうか。自転車利用時のヘルメットの着用について昨年全国調査を行ったところ、全国平均は13.5%で、青森県は2.5%でした。これは、全国ワースト2位という結果だったそうです。

では、そもそもどうして自転車利用時にヘルメットを着用することを推進しているのでしょうか。そのことについて、警視庁のホームページにあった記事を紹介します。

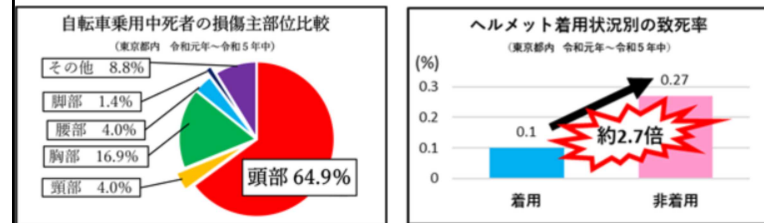
自転車死亡事故の64.9%が頭部に致命傷を負っています

自転車事故で死亡した人の64.9%（注記1）が、頭部に致命傷を負っています。

また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は約2.7倍と高くなっています。

自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。

（注記1）令和元年から令和5年までの東京都内における自転車乗用中死者の損傷部位の割合



交通事故による被害を軽減するために、子供にヘルメットを着用させることはもちろん、大人もヘルメットの着用に努めてください。

【警視庁ホームページより】

上の記事を見ると、自転車事故で死亡した人の64.9%は頭部に致命傷を負っており、致死率は、ヘルメットを着用の有無で、2.7倍違うというのです。

自分の意思で防げる事故もありますが、予期せず事故に巻き込まれてしまうことも無いとは言えません。ヘルメットひとつで助かる命もあると思います。せっきく黒石市が無償で支給しておりますので、お子さんに着用をご家庭でもお勧めください。

資源回収へのご協力ありがとうございます



たくさんの方々にご参加いただき、比較的短い時間で終わることができました。資源を回収して得られたお金は有効に活用させていただきます。ご協力本当にありがとうございました。

郷土愛も深まった体験型の鑑賞教室



6月4日、蓮游會の方々がお来校し、ねぶたやねぶた、お山参詣の囃子等を披露してくださいました。ただ聞くだけの鑑賞教室ではなく、跳ねたり、かけ声をかけたり、笛を吹いたり、太鼓をたたいたり体験を交えてやってくださったので、気が付くとあっという間に終わってしまった楽しい時間となりました。

うれしいお話

先日、学区に住むご年配の女性の方から、学校にお電話をいただきました。

犬の散歩中、転んでしまったのだけど、たくさんの東小の子供たちが集まってきて「大丈夫ですか？」と声をかけてくれたとのこと。教えていただいて、こちらまで温かい気持ちになりました。

7月の主な行事予定

日	曜	行事等	給食
1	月	安全点検	○
2	火	食育事業（4年） SC	○
3	水	修学旅行（6年） 5時間学習（1～5年） すくすくの会	○
4	木	修学旅行（6年）	○
5	金	修学旅行（6年） 校外学習（1年）	○
6	土		
7	日	県吹奏楽コンクール弘前地区大会（弘前市民会館）	
8	月	全校5時間学習 職員会議	○
9	火	居住地校交流（3年） 分掌会議	○
10	水	市教委計画訪問 全校5時間学習 SSW パルマーク鑑賞	○
11	木	大清掃（5時間目、3～6年） 4時間学習（1・2年）	○
12	金	短縮日課 念入り清掃	○
13	土		
14	日		
15	月	海の日	
16	火	校外学習（4年） SC	○
17	水	児童集会（太陽にここ集会） 委員会	○
18	木	情報モラル教室 居住地校交流（3年） 分掌会議	○
19	金	全校5時間学習 夏休み前集会	○
20	土		
21	日		
22	月	夏季休業（～8/23） 保護者面談（～7/26）	
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

A L T（ヨル先生）は水・木・金曜日に来校します。

S Cはスクールカウンセラー菊池先生来校

S S Wはスクールソーシャルワーカー片岡先生来校